



## 2020年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2020年5月12日

上場会社名 カーディナル株式会社  
 コード番号 7855 URL <https://www.cardinal.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 弘直

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 宮家 正行

TEL 06-6934-4141

定時株主総会開催予定日 2020年6月25日 配当支払開始予定日

2020年6月26日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

#### (1) 経営成績

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	1,203	3.5	52	42.9	62	40.9	36	57.6
2019年3月期	1,162	0.3	92	9.9	105	8.4	85	15.4

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	17.75		1.6	2.1	4.4
2019年3月期	41.84		3.7	3.5	8.0

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	2,966	2,322	78.3	1,140.96
2019年3月期	3,055	2,326	76.1	1,142.71

(参考) 自己資本 2020年3月期 2,322百万円 2019年3月期 2,326百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	186	157	6	1,341
2019年3月期	147	41	74	1,306

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		7.00		7.00	14.00	28	33.5	1.2
2020年3月期		7.00		7.00	14.00	28	78.9	1.2
2021年3月期(予想)								

2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

### 3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。合理的な予想が可能となった段階で速やかに開示いたします。

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	2,143,000 株	2019年3月期	2,143,000 株
期末自己株式数	2020年3月期	107,245 株	2019年3月期	107,245 株
期中平均株式数	2020年3月期	2,035,755 株	2019年3月期	2,035,755 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

新型コロナウイルス感染症による影響が見込まれることから、現段階において業績予想の算定が困難であります。従いまして、2021年3月期の業績予想は未定とさせていただきます、合理的な予想が可能となった段階で改めて開示いたします。今後の見通しにつきましては、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 貸借対照表 .....	4
(2) 損益計算書 .....	6
(3) 株主資本等変動計算書 .....	7
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(持分法損益等) .....	10
(セグメント情報) .....	10
(1株当たり情報) .....	10
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢は緩やかな回復基調で推移いたしました。2019年10月に実施された消費税増税後は景気下振れリスクが懸念される状況が続いております。また、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大もあり、極めて不透明な状況にあります。

このような状況下において当社は生産部門では人手不足の問題もある中で一層の省力化投資による生産機能のレベルアップを通じて新しいサービスの提供力向上を目指すとともに、人員・設備の効率的配置により原価率の低減に努め、お客様のニーズに的確に対応する能力の高い工場生産力の強化に努めてまいりました。

営業部門では安定的な収益を確保するためには販売代理店の確保が重要課題であるとの認識のもと、印刷関連の展示会は元より販売促進関連の展示会への出展やダイレクトメールなどにより新規販売代理店の確保を推進し、既存の販売代理店に対してはインターネット（Web）上でのCard Market.jp（サテライトオフィス）により最新情報やサービスを迅速に解り易く提供いたしました。

また、カードにAR（tARget ARアプリ）を付加したサービスや昨年12月にリリースしましたQRCHORD CHANGER（QRコードリンク先変更システム）はAR同様カードや印刷物に当社が提供するシステム（QRコード）を印刷すればQRコード一個で複数のリンク先が登録でき、今までに無いサービスによりさらなる関係強化に着手してまいりました。

しかしながら、当社が得意とする小ロット・多品種分野においてNET業界の価格競争に巻き込まれるなど大口ロットとなる流通業界（小売店・量販店）の受注は順調に確保できたものの、収益性の低い受注の比率が増加したことや設備投資に伴う減価償却費の増加及び消耗品費・支払手数料等の増加に加え、材料・副資材の高騰なども重なり経営環境は厳しい状況で推移いたしました。

これらの結果、当事業年度の業績は売上高が1,203,093千円と40,138千円（前年同期比3.5%増）の増収となりましたが、営業利益では52,969千円と39,813千円（前年同期比42.9%減）、経常利益では62,297千円と43,095千円（前年同期比40.9%減）、当期純利益では36,131千円と49,038千円（前年同期比57.6%減）の減益となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### （資産）

当事業年度末の流動資産は、現金及び預金が34,950千円増加しましたが、仕掛品が20,901千円、電子記録債権が17,442千円減少したこと等により、前事業年度末に比べて20,239千円減少し1,777,096千円となりました。固定資産は、機械及び装置が47,394千円減少したこと等により、前事業年度末に比べて68,245千円減少し1,189,477千円となりました。この結果、資産は前事業年度末に比べて88,484千円減少し2,966,574千円となりました。

#### （負債）

当事業年度末の流動負債は、未払金が121,719千円減少したこと等により、前事業年度末に比べて95,385千円減少し303,765千円となりました。固定負債は、役員退職慰労引当金が25,227千円減少しましたが、長期借入金が25,662千円増加したこと等により、前事業年度末に比べて10,454千円増加し340,088千円となりました。この結果、負債は前事業年度末に比べて84,930千円減少し643,853千円となりました。

#### （純資産）

当事業年度末の純資産は、その他有価証券評価差額金が11,185千円減少したこと等により、前事業年度末に比べて3,554千円減少し2,322,720千円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税引前当期純利益が55,516千円確保でき、当事業年度末には1,341,632千円となりました。

また、当事業年度中における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において、営業活動による資金の増加は、186,121千円（前年同期比26.3%増）となりました。

これは主に、未払消費税等が増加したためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において、投資活動による資金の減少は、157,640千円（前年同期比283.3%増）となりました。

これは主に、有形固定資産の売却による収入が減少したためであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において、財務活動による資金の増加は、6,468千円（前年同期は74,801千円の減少）となりました。

これは主に、長期借入れによる収入が増加したためであります。

(4) 今後の見通し

今後の経済見通しにつきましては、景気の低迷が顕著になるなか、新型コロナウイルス感染症の影響が世界各地に続き、国内外の経済活動に大きく影響し、深刻化の度合いを増しております。

このような状況のもと、当社は販売代理店への営業活動の強化、オンデマンド印刷による小ロット・多品種・短納期カードの販売強化、なかでもIDカード（顔写真入り）の販売を強化し、大口顧客となる高速で且つバリエーション印刷・カード貼付・ラベル貼付が可能な高付加価値製品を大口顧客以外の顧客にも販売を促進し、環境に優しい再生PETカードやPET-Gカードの販売強化並びにその他プラスチック製品（カードサイズ以外）の販売促進品の取扱強化に努力を重ねてまいります。

また、カードや印刷物にAR（tARget ARアプリ）を付加したサービスや昨年12月にリリースしましたQR CHORD CHANGER（QRコードリンク先変更システム）は当社が提供するシステム（QRコード）を印刷すればQRコード一つで複数のリンク先が登録でき、他社にはないシステムで、新たなサービスの提供により、既存の販売代理店との更なる強固な信頼関係の構築と今までに無い新たなICT分野（異業種）の新規販売代理店の確保に注力してまいります。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大により3月初旬の自粛要請から4月7日の緊急事態宣言により3密を回避するため、あらゆる業種が休業・時短営業を止むなくされております。

当社は幅広い業種の全国の顧客が利用するカードを製造しており、それらは全国の販売代理店から受注しております。当社が製造しているカードの殆どが消耗品であり、且つ日本国内を市場としており、景気の変動、個人消費のマイナムの低下などの影響を受けます。

当社の次期の業績といたしましては、現段階で不透明な部分が多く、また未確定要素が多いことから合理的に算定することが困難なため未定としております。今後、適正かつ合理的な算定が可能となった段階で速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,306,682	1,341,632
受取手形	108,774	122,635
電子記録債権	47,785	30,343
売掛金	202,387	185,571
商品及び製品	52	52
仕掛品	54,812	33,910
原材料及び貯蔵品	65,115	64,428
未収消費税等	3,497	-
未収還付法人税等	8,613	-
前払費用	2,487	1,229
貸倒引当金	△2,871	△2,708
流動資産合計	1,797,335	1,777,096
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物	963,594	964,761
減価償却累計額	△740,880	△753,613
建物（純額）	222,713	211,147
構築物	23,271	21,620
減価償却累計額	△20,402	△18,996
構築物（純額）	2,868	2,623
機械及び装置	1,123,905	1,146,169
減価償却累計額	△820,561	△890,219
機械及び装置（純額）	303,344	255,949
車両運搬具	26,511	26,511
減価償却累計額	△20,536	△23,268
車両運搬具（純額）	5,974	3,242
工具、器具及び備品	119,578	130,882
減価償却累計額	△112,705	△114,133
工具、器具及び備品（純額）	6,872	16,748
土地	272,988	272,988
有形固定資産合計	814,761	762,700
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	2,725	3,633
その他	1,068	1,068
無形固定資産合計	3,794	4,702
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	154,782	133,428
破産更生債権等	193	114
繰延税金資産	96,438	95,809
保険積立金	184,758	189,649
その他	3,187	3,187
貸倒引当金	△193	△114
投資その他の資産合計	439,166	422,074
固定資産合計	1,257,723	1,189,477
資産合計	3,055,059	2,966,574

（単位：千円）

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	119,349	111,257
買掛金	57,112	47,132
短期借入金	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	46,829	55,992
未払金	135,576	13,857
未払費用	2,038	2,089
未払法人税等	619	12,337
未払消費税等	-	28,477
預り金	9,383	5,507
賞与引当金	13,900	14,200
その他	4,341	2,914
流動負債合計	399,151	303,765
固定負債		
長期借入金	80,356	106,018
再評価に係る繰延税金負債	2,366	2,366
退職給付引当金	161,728	171,748
役員退職慰労引当金	84,261	59,033
資産除去債務	921	921
固定負債合計	329,633	340,088
負債合計	728,784	643,853
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	323,200	323,200
資本剰余金		
資本準備金	100,600	100,600
資本剰余金合計	100,600	100,600
利益剰余金		
利益準備金	38,000	38,000
その他利益剰余金		
別途積立金	1,900,000	1,950,000
繰越利益剰余金	105,835	63,466
利益剰余金合計	2,043,835	2,051,466
自己株式	△43,010	△43,010
株主資本合計	2,424,624	2,432,255
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△19,409	△30,594
土地再評価差額金	△78,940	△78,940
評価・換算差額等合計	△98,349	△109,535
純資産合計	2,326,274	2,322,720
負債純資産合計	3,055,059	2,966,574

（2）損益計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）	当事業年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）
売上高	1,162,954	1,203,093
売上原価		
商品期首たな卸高	82	52
当期製品製造原価	791,931	880,625
当期商品仕入高	3,678	4,177
合計	795,692	884,854
商品期末たな卸高	52	52
売上原価	795,640	884,802
売上総利益	367,314	318,290
販売費及び一般管理費	274,530	265,320
営業利益	92,783	52,969
営業外収益		
受取利息	15	15
有価証券利息	9,509	6,594
受取配当金	1,897	1,973
その他	2,278	1,731
営業外収益合計	13,700	10,315
営業外費用		
支払利息	970	842
その他	119	145
営業外費用合計	1,090	987
経常利益	105,392	62,297
特別利益		
固定資産売却益	6,718	-
投資有価証券売却益	19	269
特別利益合計	6,738	269
特別損失		
固定資産除却損	211	135
投資有価証券売却損	6,152	-
投資有価証券評価損	21,356	6,914
特別損失合計	27,720	7,049
税引前当期純利益	84,410	55,516
法人税、住民税及び事業税	10,616	15,742
法人税等調整額	△11,375	3,642
法人税等合計	△759	19,385
当期純利益	85,170	36,131

（3）株主資本等変動計算書

前事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	323,200	100,600	100,600	38,000	1,850,000	191,137	2,079,137
当期変動額							
剰余金の配当						△28,500	△28,500
当期純利益						85,170	85,170
別途積立金の積立					50,000	△50,000	-
土地再評価差額金の取崩						△91,972	△91,972
自己株式の取得							
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）							
当期変動額合計	-	-	-	-	50,000	△85,302	△35,302
当期末残高	323,200	100,600	100,600	38,000	1,900,000	105,835	2,043,835

	株主資本		評価・換算差額等			純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額 等合計	
当期首残高	△43,010	2,459,927	△16,134	△170,912	△187,047	2,272,880
当期変動額						
剰余金の配当		△28,500				△28,500
当期純利益		85,170				85,170
別途積立金の積立		-				-
土地再評価差額金の取崩		△91,972		91,972	91,972	-
自己株式の取得	△0	△0				△0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）			△3,274		△3,274	△3,274
当期変動額合計	△0	△35,303	△3,274	91,972	88,697	53,394
当期末残高	△43,010	2,424,624	△19,409	△78,940	△98,349	2,326,274

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	323,200	100,600	100,600	38,000	1,900,000	105,835	2,043,835
当期変動額							
剰余金の配当						△28,500	△28,500
当期純利益						36,131	36,131
別途積立金の積立					50,000	△50,000	-
土地再評価差額金の取崩							
自己株式の取得							
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	-	-	-	-	50,000	△42,368	7,631
当期末残高	323,200	100,600	100,600	38,000	1,950,000	63,466	2,051,466

	株主資本		評価・換算差額等			純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額 等合計	
当期首残高	△43,010	2,424,624	△19,409	△78,940	△98,349	2,326,274
当期変動額						
剰余金の配当		△28,500				△28,500
当期純利益		36,131				36,131
別途積立金の積立		-				-
土地再評価差額金の取崩						
自己株式の取得						-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			△11,185		△11,185	△11,185
当期変動額合計	-	7,631	△11,185	-	△11,185	△3,554
当期末残高	△43,010	2,432,255	△30,594	△78,940	△109,535	2,322,720

（4）キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）	当事業年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	84,410	55,516
減価償却費	67,083	95,690
退職給付引当金の増減額（△は減少）	16,462	10,020
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	3,502	3,840
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△98	△242
賞与引当金の増減額（△は減少）	△900	300
受取利息及び受取配当金	△11,421	△8,583
支払利息	970	842
投資有価証券売却損益（△は益）	6,132	△269
投資有価証券評価損益（△は益）	21,356	6,914
固定資産除却損	211	135
有形固定資産売却損益（△は益）	△6,718	-
売上債権の増減額（△は増加）	1,425	18,904
たな卸資産の増減額（△は増加）	△3,646	21,588
仕入債務の増減額（△は減少）	12,802	△17,881
未払消費税等の増減額（△は減少）	△14,383	31,974
その他	7,068	△14,046
小計	184,258	204,704
利息及び配当金の受取額	11,213	8,357
利息の支払額	△959	△863
役員退職慰労金の支払額	-	△29,068
法人税等の支払額	△47,139	△6,399
法人税等の還付額	-	9,391
営業活動によるキャッシュ・フロー	147,374	186,121
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△118,961	△151,576
有形固定資産の売却による収入	41,991	-
ソフトウェアの取得による支出	△250	△1,910
投資有価証券の取得による支出	△600	△700
投資有価証券の売却による収入	42,786	1,437
保険積立金の積立による支出	△6,256	△6,186
保険積立金の解約による収入	-	1,295
差入保証金の差入による支出	△1,020	-
差入保証金の回収による収入	1,180	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41,128	△157,640
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	-	100,000
長期借入金の返済による支出	△45,996	△65,175
自己株式の取得による支出	△0	-
配当金の支払額	△28,804	△28,356
財務活動によるキャッシュ・フロー	△74,801	6,468
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	31,443	34,950
現金及び現金同等物の期首残高	1,275,238	1,306,682
現金及び現金同等物の期末残高	1,306,682	1,341,632

（5）財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（持分法損益等）

前事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）及び当事業年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社は、カード製造授業単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（1株当たり情報）

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	1,142円71銭	1,140円96銭
1株当たり当期純利益	41円84銭	17円75銭

（注） 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益（千円）	85,170	36,131
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る当期純利益（千円）	85,170	36,131
普通株式の期中平均株式数（株）	2,035,755	2,035,755

（重要な後発事象）

該当事項はありません。